

地区体育館使用料に見直しによる使用料金設定の妥当性について

(平成 25 年 4 月「無料体育施設の使用料のあり方について (答申)」および
「入間市受益者負担見直しガイドライン」を踏まえ作成)

【使用料 (案)】

利用場所	貸出し単位	料金
アリーナ 1 / 2 面	2 時間	1, 0 0 0 円
2 階フロア面 ※1		4 0 0 円

※1 宮寺地区体育館を除く

1. 使用料見直し(受益者負担)の考え方

市が提供しているサービスや施設の管理運営に係るコストは、使用料のほか市税等の公費によって賄っており、サービスを利用しない人も税金によるコストを負担しています。そのため、利用者に応分の負担を求め、負担の公平性・公正性を確保し「受益と負担の適正化」を図ることが重要です。このことから、地区体育館の使用料を設定し、有料化を図るものです。

2. 利用料の算定について

算定に当たっては「入間市受益者負担見直しガイドライン(以下「ガイドライン」という。)」に則って行う。

(1) 利用料の算定方法

- ①施設の管理運営に必要なランニングコストを算出
- ②1 m²当たりのコストを算出したうえで、利用面積、利用時間に乗じてコストを算定
- ③受益者負担率を乗じて使用料を算定

・ランニングコスト

人件費	受付、使用料の徴収、保守点検等の事務、通常の施設管理運営に係る職員等人件費
物件費	需用費（光熱水費、消耗品費、修繕費等）委託料（保守委託、管理委託等）、役務費（通信運搬費、保険料等）など通常の施設の管理運営に係る物件費

(2) 受益者負担割合

公共施設としての必要性や収益性を勘案して判断する。ガイドラインに基づき、地区体育館の受益者負担率は50%とする。

・公の施設の性質に応じた標準的な受益者負担の考え方 <参考:ガイドライン抜粋>



(3)対象施設の概要（令和5年度時点）

施 設	延べ床面積	延べ床面積	アリーナ面積	2 階面積	開館日数	開館時間	利用件数
藤沢地区体育館	1,268.51 m ²	1,268.51 m ²	936 m ²	132.74 m ²	休館日 12/28～ 1/4	9：00 ～21：30	3,464 件
東金子地区体育館	1,264.98 m ²	1,264.98 m ²	936 m ²	121.56 m ²			3,623 件
西武地区体育館	1,250.98 m ²	1,250.98 m ²	936 m ²	107.56 m ²			2,404 件
宮寺地区体育館	1,216.65 m ²	1,250.98 m ²	936 m ²				2,666 件
黒須地区体育館	1,250.98 m ²	1,216.65 m ²	936 m ²	107.56 m ²			2,518 件
合 計	6,252.10 m ²	6,252.10 m ²	4,680 m ²	469.42 m ²	357 日	12.5時間	14,675 件

・人件費	2,837,736円	地区体育館5館分ランニングコスト 合計44,176,677円
・旅費	91,427円	
・需用費	11,004,688円	
・役務費	855,757円	
・委託料	28,366,066円	
・使用料及び賃借料	470,548円	
・その他(自主事業等)	62,455円	
・公租公課	488,000円	

3.地区体育館の使用料算定について

(1) ガイドラインに基づき、地区体育館の使用料を以下のとおり算定した。

[1] 1 m²の時間当たりのコストから算出した使用料（令和5年度決算）

- ・延べ床面積 6,246 m²
- ・年間開館時間 4,462時間（開館日数 357×開館時間 12.5 時間）

施設全体の経費÷延べ床面積÷年間開館時間

$$44,176,677円 \div 6,246 m^2 \div 4,462時間 = 1.58 m^2$$

単価×アリーナ面積×受益者負担率

$$1.58円 \times 936 m^2 \times 50\% = 740円$$

[2] 利用件数から算出した使用料

施設全体の経費 ÷ R5利用件数 = 1件当たりの単価

$$44,176,677円 \div 14,675件 = 3,010円$$

1件当たりの単価×受益者負担

$$3,010円 \times 50\% = 1,505円$$

[1]、[2]の算定に加え、

①近隣の状況(狭山市・狭山台体育館720㎡で850円)との比較

②市内体育施設等とのバランス

③人件費の高騰

④R5年からの物価上昇

を考慮した使用料の案として

アリーナ	1時間の使用料
アリーナ全面(936㎡)	1,000円
アリーナ1/2面(468㎡)	500円
2階フロア(117㎡)	200円



貸出し単位(2時間)

アリーナ1/2面: 1,000円

2階フロア : 400円

(2)減免措置について

ガイドラインでは、受益者負担の例外である減免措置が、際限なく広がることは「受益と負担の適正化」に反するとしているが、子ども・障がい者等が使用する場合、また地域のスポーツ拠点であることを考慮し、以下のような使用例に対し、減免規程を設けることが考えられる。

○減免措置(案)

- ① 市が主催(全部 or 一部)する行事に利用するとき 【全額減免】
- ② 市内の公立小・中学校、保育所が主催する行事に参加するとき 【全額減免】
- ③ 地元自治会等が使用するとき 【全額減免】
- ④ 児童・生徒のスポーツ活動に使用するとき 【5割減免】
- ⑤ 障がいのある個人及び介助者が利用するとき 【5割減免】
- ⑥ 市内の高校(私立含む)が正規教育課程で利用するとき 【5割減免】

(3)使用料の徴収開始時期

令和7年12月議会にて議決された場合: 令和8年7月から(予定)

令和8年3月議会にて議決された場合: 令和8年10月から(予定)

4.その他の施設の状況

＜市内施設の1時間あたり使用料＞

施 設	午前（9時～正午）	午前（13時～17時）	夜間（18時～21時半）
市民体育館アリーナ（1,681㎡）	1,333 円	1,500 円	2,285 円
武道館・柔道場（598㎡）	1,200 円	1,200 円	1,714 円
武道館・剣道場（943㎡）	1,500 円	1,500 円	2,142 円

＜他市の状況＞入間市内地区体育館と面積が近い施設との比較

入間市 地区体育館アリーナ 全面 936㎡

	施 設	全面面積	1時間当たりの料金
所沢市	三ヶ島地区体育館 全面	1076㎡	630 円
狭山市	狭山台体育館 全面	720㎡	750 円
飯能市	市民体育館メインアリーナ 1/2 面	782㎡	600 円
日高市	市民体育館メインアリーナ 1/2 面	855㎡	1,000 円
坂戸市	市民総合運動公園 小体育室全面	900㎡	800 円

5.地区体育館付属施設の使用料について

付属施設については、設備の老朽化や各地区1カ所の整備を目指す地区スポーツ広場が未整備であるなどの状況を踏まえ、使用料徴収については、引き続き検討が必要である。

＜地区体育館の付属施設＞

- ・藤沢地区体育館 ソフトボール場1面・テニスコート2面
- ・東金子地区体育館 テニスコート1面
- ・宮寺地区体育館 テニスコート1面